

## 授業科目 相談援助実習指導 II

【担当教員名】 青木 茂	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎
【概要・一般目標：G10】 本授業は、3年時前期で行う「相談援助実習 III」の事前学習として位置付け、配属実習が円滑かつ有効に行われることを意図としている。概要としては、相談援助実習指導 I を踏まえて、配属先の実習分野等についての基本的知識を習得するとともに、担当教員及び施設等の実習指導者との協議の下、適正な実習計画を策定し、併せて実習ノート等の適正な記録方法等について理解を深めることとする。授業は原則として実習分野別のグループ学習とし、必要に応じて全体学習の機会を設けるものとする。				
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 相談援助実習の意義及び目的を理解する。 2. 配属される実習分野について理解を深める。 3. 実習先で必要とされる専門的援助技術について十分理解する。 4. 担当教員及び実習指導者との協議により実習計画を作成する。 5. 実習期間中の留意事項について十分理解する。 6. 配属先の実習指導者から事前オリエンテーションを受け準備等を確実に行う。(グループ学習を活用して実施する) 7. 実習後に行う相談援助実習指導 III の概要を理解する。				
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ガイダンス（授業の進め方、内容と方法、留意事項等）			講義
2	グループ学習 1			実習分野別に分かれて実施
3	グループ学習 2			実習分野別に分かれて実施
4	グループ学習 3			実習分野別に分かれて実施
5	グループ学習 4			実習分野別に分かれて実施
6	グループ学習 5			実習分野別に分かれて実施
7	グループ学習 6			実習分野別に分かれて実施
8	グループ学習 7			実習分野別に分かれて実施
9	グループ学習 8			実習分野別に分かれて実施
10	グループ学習 9			実習分野別に分かれて実施
11	グループ学習 10			実習分野別に分かれて実施
12	グループ学習 11			実習分野別に分かれて実施
13	巡回指導について			実習分野別に分かれて実施
14	全体学習（相談援助実習と相談援助実習 III について）			講義
15	まとめ			講義
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料	相談援助実習の手引き	新潟医療福祉大学		
【評価方法】 出席状況、レポート等で評価	【履修上の留意点】 3年前期で行う「相談援助実習 III」の履修には、本授業及び相談援助実習指導 I の履修が前提となるものであること。			